

静岡県東部地域企業経営動向調査

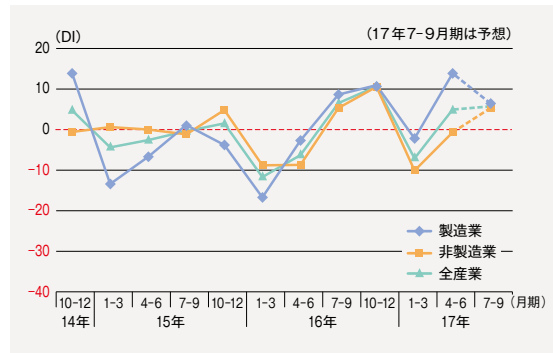
(2017年4-6月期実績、2017年7-9月期見通し)

1 業況概要(自社)

製造業、非製造業とも再び上昇に転じる

静岡県東部地域における2017年4-6月期の業況判断DI(対前期比)は、全産業で4.9(前期-7.1)と再び上昇に転じた。製造業は、パルプ・紙・紙加工品と食料品で大幅に改善したことから、全体で13.8(前期-2.2)と2期ぶりにプラス水準となった。非製造業でも卸・小売・サービス業全体、建設業でDIが改善したため、全体でも-0.7(前期-10.1)と反転上昇している。

2017年7-9月期の予想DI(今期比)は全産業で5.7と若干の上昇が見込まれている。業種別では製造業が6.4、非製造業が5.3となっている。



業種別天気図



(2017年1-3月期と4-6月期は前期比、7-9月期は今期比予想)

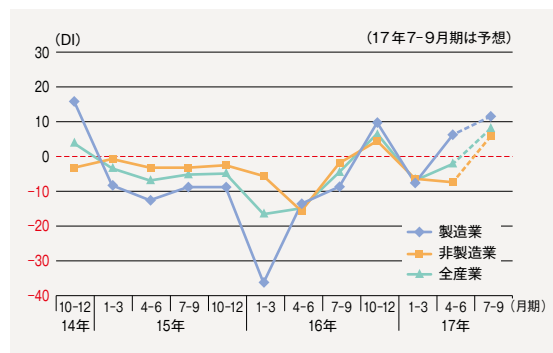
業種	業況好調 ←				業況不振 →			
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス業	旅館・その他宿泊所	建設業
2017年1-3月期	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
2017年4-6月期	☀	☀	☀	☀	☁	☁	☀	☁
2017年7-9月期	☀	☀	☀	☀	☁	☁	☀	☁

2 売上動向

製造業は上昇に転じプラス水準を回復、非製造業はわずかに低下

2017年4-6月期の全産業の売上動向DI(対前期比)は-2.0(前期-6.8)と上昇に転じた。製造業では食料品とパルプ・紙・紙加工品の大幅な改善により、全体では6.4(前期-7.5)とプラス水準を回復した。一方、非製造業では旅館・その他宿泊所と建設業で低下したため、全体のDIは-7.3(前期-6.3)とわずかに低下している。

2017年7-9月期の予想DI(今期比)は、全産業で8.2と上昇している。業種別では製造業が11.7、今期低下した非製造業でも6.0と回復が見込まれている。

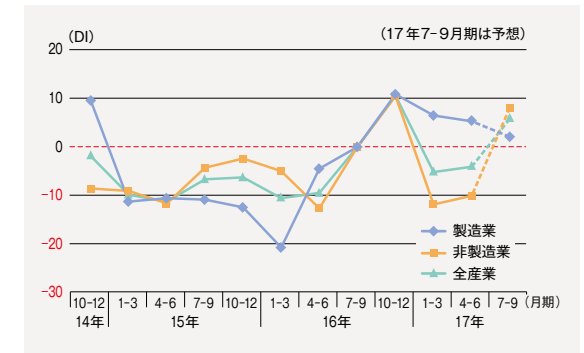


3 利益動向

製造業は低下もプラス水準、非製造業は若干の上昇に転じる

2017年4-6月期の全産業の利益動向DI(対前期比)は-4.1(前期-5.2)と若干の改善となった。製造業では、金属製品、その他製造業などで低下したため、全体では5.3(前期6.5)と低下したものの、引続きプラスの水準にある。一方、非製造業ではその他小売・サービス業等で改善が進んだため、全体では-10.1(前期-11.9)と若干の上昇に転じている。

2017年7-9月期の予想DI(今期比)は、全産業で5.8となっている。業種別では非製造業で8.1と回復への期待感が強いのにに対し、製造業では2.1と低下が見込まれている。



4 経営上の問題点

「人材の育成」などが「受注・売上の停滞・減少」上回る

従来回答割合が最も高かった「受注・売上の停滞・減少」(48.0%→40.6%)は前期比で約7ポイント低下し、「人材の育成」(46.4%→44.7%)と「従業員の高齢化」(38.1%→41.4%)がこれを上回った。また、「原材料・仕入商品の値上がり」(19.4%→22.5%)も回答する企業の割合が高まっている。

業員の高齢化」(38.1%→41.4%)がこれを上回った。また、「原材料・仕入商品の値上がり」(19.4%→22.5%)も回答する企業の割合が高まっている。

(単位:社、%)

問題点	16年10-12月期		17年1-3月期		17年4-6月期		順位変動
	企業	比率	企業	比率	企業	比率	
1. 人材の育成	117	46.1	117	46.4	109	44.7	↑
2. 従業員の高齢化	85	33.5	96	38.1	101	41.4	↑
3. 受注・売上の停滞・減少	127	50.0	121	48.0	99	40.6	↓
4. 求人難	78	30.7	88	34.9	75	30.7	→
5. 過当競争・製品安	71	28.0	63	25.0	58	23.8	→
6. 原材料・仕入商品の値上がり	38	15.0	49	19.4	55	22.5	↑
7. 生産・販売能力の不足	53	20.9	57	22.6	52	21.3	↓
8. 人件費の増加	60	23.6	48	19.0	51	20.9	→

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業 417社 回答数 244社(回答率 58.5%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2017年4-6月期 見通し:2017年7-9月期
- 調査時点 2017年5-6月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標です。

調査結果は弊所ウェブサイト(<http://www.srgi.or.jp>)をご覧ください。